

簡単！便利！
XPの常識！?

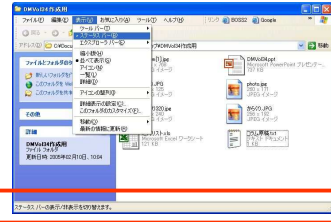
目からウロコ。たったこれだけでの設定で！

Windows XPになってから、Meにあったタスクバーの「クイック起動」や、フォルダのステータスバーがデフォルトで表示されなかったりと『なぜ?』と思う事があります。これらの機能は無くなった訳でなく、表示させる方法が変わっただけです。ほんの少しですが、ちょっとした設定の変更で、もっと効率的に、もっと便利になる方法をご紹介します。

ステータスバーは大事な情報源！

Windows XPはデフォルトの設定では、ステータスバーが表示されません。ステータスバーには、フォルダ内のファイルの数や容量、選択したファイルの情報が表示され、あると何かと役に立ちます。表示方法はカンタン！フォルダを開いて、メニューバーの「表示」をクリック、メニューの中の「ステータスバー」をクリックするだけ。

ステータスバー →

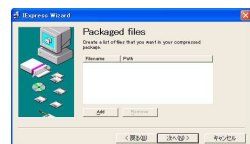


ログオン直後のNumLockの設定は？

Windows 2000やXPで『ログオン後、いつもキーボードの「NumLock」がOFFになっている。ONにしても、次に起動すると、またOFFに戻っている。』こんな現象で困っている方はいませんか。「NumLock」の設定は再起動でリセットされてしまいます。「NumLock」の設定を保存したい場合は、次の手順でOKです。まず、「NumLock」キーを押して、ONの状態にします。次に、ログオフします。たったコレだけです。次回のログオン時からは、「NumLock」がONの状態になっています。OFFの状態を保存したい場合は、「NumLock」がOFFの状態でログオフすればOKです。憶えておくときっと役に立ちますよ。

自己解凍書庫をXPで作る

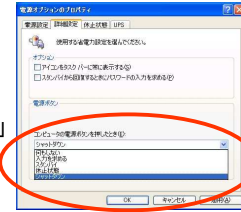
プリンタドライバなどをダウンロードした時などによく見かける、ダブルクリックするだけで、解凍できるファイルって便利ですよね。ファイルを圧縮して渡す時、渡す相手の環境を気にする必要がありません。フリーの圧縮ツールでもできますが、Windows XPにも標準機能として用意されていました。ただし、すべて英語ですので、完全に使いこなすには苦勞するかも知れませんが興味のある方は「ファイル名を指定して実行」で iexpress と入力してみてください。ウィザードに従い進むと自己解凍書庫ファイルが出来上がります。



自己解凍書庫.EXE

電源ボタンの役割を変更してシャットダウンを制御！

パソコンの電源ボタンを押した時の動作を変更できる事をご存知ですか？最近のパソコンはキーボードにも電源ボタンが付いているものもあり、ちょっとした間違いで電源ボタンを押してしまう可能性もあります。電源ボタンの設定を、「入力を求める」にしておけば安全です。設定の変更は、とってもカンタン！スクリーンセーバーの設定画面にある「電源」ボタンをクリックします。「電源オプションのプロパティ」タブの中に電源ボタンの設定項目があります。予期せぬトラブルを回避するため、一度試してみませんか。



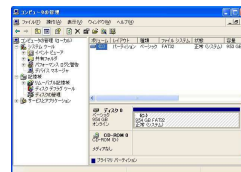
私は体験しました。

ハードディスクが勝手に動いている???

パソコンの電源を入れ、何もせずに放っておくと、知らない間にハードディスクのアクセスランプが「チカチカ」点滅してハードディスクが「カリカリ」と動いている事があります。キーボードやマウスをさわると、ランプは消えて、音も静かになります。ウイルスにでも感染しているのだろうか？と心配された方もいるのではないのでしょうか。実は、Windows XPには、アイドル時間に「システムの復元ポイント」を作成したり、ハードディスクの中身を整理整頓して、動作を安定させる機能が付いているのです。ノートPCの場合、バッテリー駆動時にはこの機能は動きません。パソコンは、知らないところで、一生懸命働いているようです。

ハードディスクの容量が半分になっちゃった???

皆さんは「137GBの壁」を御存知でしょうか。私が、250GBのハードディスクに、Windows XPをインストールしようとした時です。BIOSでは250GBと認識していたのに、Windowsをインストールしようとしたらハードディスクが137GBと表示されます。とりあえず137GBのうち、80GBにWindowsをインストールしました。インストール後、「ディスクの管理」を見ると、Cドライブの横に「未割当」として約150GBの残りが残っていますが、インストール時には137GBまでしか認識してくれないようです。増設ドライブとして取り付けた場合は、最初から250GBとして認識していました。もし、137GB以上のハードディスクにWindowsをインストールする時は、注意して下さい。



タスクマネージャを見てみよう！

Windows XPでは、「タスクバー」を右クリックして現れるメニューに「タスクマネージャ」があります。ここを見ると、Windowsの様子が分かります。御存知で無い方は一度ご覧になって下さい。

アプリケーション

起動中のアプリケーションが一覧で表示されます。「反応なし」となったソフトを選択(クリックして青く反転)して、「タスクの終了」ボタンで強制終了する事ができます。



プロセス

起動中のアプリケーションだけでなく、Windowsの内部で動作しているプログラムも一覧表示されます。ここに表示されるプログラムにはWindowsの動作に大きく関係するものも多くありますので、参照する程度にしておきましょう。

パフォーマンス

CPUの使用率とメモリの使用量が分かります。PF使用量が物理メモリより大きい時は、メモリ容量が不足していると判断出来ます。また、PF使用量が物理メモリの範囲内であるのに、CPU使用率が頻りに100%になる場合は、CPUの能力の限界だと判断出来ます。

ネットワーク

ネットワークの使用率をグラフで確かめる事が出来ます。何もしていないのに頻りにグラフに反応がある場合は、ウイルスに感染している事も考えられますので、注意して下さい。

ユーザー

ログオン中のユーザーが表示されます。ユーザーの切替やログオフが出来ますが、この項目は「ユーザーの簡易切替」が有効になっていないと表示されません。

パソコンの動作が遅くなったり、ソフトの反応がなくなった場合などは、タスクマネージャをチェックしてみましょう。不具合の原因が分かるかも知れません。ハイパースレッディング機能のあるCPUでは、CPUの使用率のグラフが2つ表示され、なんだが得した気分も味わえますよ。

開発室から



私は慎重な男です。映画のDVDを買いましたが、傷でも付いて再生できなくなるといやなので、パソコンでバックアップDVDを作成しようとした。もちろん出来ませんでした。試しにHDDレコーダーにダビングしようとしたがこちらもダメです。ところが探せばあるものです。フリーソフトでDVDのバックアップができました。慎重な男の私は、バックアップしたDVDを更にHDDレコーダーにダビングしておこうとした。しかし、出来ませんでした。コピーガードもろともバックアップされたようです。

